特殊研 B－179

重複障害教育研究部　一般研究報告書

視覚聴覚二重障害教育における教師の専門性に関する研究

重複障害児の感覚機能の評価と、評価に基づく指導内容に関する研究

感覚障害と知的障害のある重複障害児の概念形成の機序に関する研究

肢体不自由を主とする重複障害児の環境との相互作用に関する実際的研究

平成16年3月

独立行政法人

国立特殊教育総合研究所

重複障害教育研究部

重複障害教育研究部一般研究について

本報告書は重複障害教育研究部を構成する３つの研究室から計４つの研究課題についての成果が盛り込まれている。

ひろく教育の営みは相手となる子どもを理解することに始まり、理解することに終わるといわれているとおり、すべて教育実践は、まず子どもを的確に理解することから始まる。この研究において対象としている「重複障害児」において、個々の子どもの障害をどのように理解するか、障害に対応した教育の営みは如何にあるべきかについては、従前から継続的に追求されてきているが、ここであらためて、「子どもの理解」ということにふれるのは、保育や教育は対象とする「子どもの理解（子どもを理解すること）」から始まることに、もう一度立ち返って検討してみる必要性を考えてのことである。「子どもの理解」は一時的・静的なものではなく、日々の実践が進展することでますます深まっていくというように、常に変化する動的なものであろう。対象が重度のあるいは重複した障害のある子どもの場合、その出会いから、子どもの状態像を的確に評価し、係わりの糸口をみつけていくことはかならずしも容易ではない。

本研究では、それぞれの研究課題に即して異なったアプローチがなされているが、それらに共通するものは、様々な事例を丁寧に研究することから、教育的営み（働きかけ）と表裏一体である「子どもの理解」とは具体的にはどのようなことであるのか、教育の場ではどのように捉えられ、どう実行されるのかについて、実践的・具体的研究資料によって検討していることである。

第一研究室では、「視覚聴覚二重障害教育を担当する教師の専門性に関する研究」を行ってきた。この研究は障害の重い子どもの教育に当たる教師の専門性を、実践的力量という観点から吟味し、子どもとの実践を積み重ねることで形成される実践知によって支えられる専門性の重要性を指摘した。そして、特に視覚聴覚二重障害という障害の独自性に基づいたこの教育の専門的知識について整理を加えた。

第二研究室では、「重複障害児の感覚機能の評価と、評価に基づく指導内容に関する研究」を行った。重複障害のある子どもの多くが感覚障害を併せ有していることから、その感覚機能について着目し、機能評価と、その評価を実際の指導に活かしていく道筋を明らかにした。感覚機能については、通常の検査等で行った結果、検査測定ができず、これまで「測定不能」といったかたちで放置されることが多かった。しかし、近年の研究の成果により重複障害のある子どもでも、より適切な評価が可能になってきており、とくに教育と結びつく評価が次第に開発されてきている。また、同じく第二研究室からは、「感覚障害と知的障害のある重複障害児の概念形成の機序に関する研究」の成果が報告された。この研究では、教科指導への導入期に重要なテーマとなる「概念形成」を取り上げ、特に感覚障害と知的障害を併せ有している場合の概念形成に関わる教育的課題を追求した。これらの子どもにおいては、意図的な教育的働きかけなしには、概念形成が容易にはすすまないことが従前からも指摘されてきている。しかし、実際の指導においては、概念形成の機序がいまだ十分に解明されていないこともあって、ともすると「場当たり的」な指導がおこなわれてきた面があることは否め

ない。この研究では、この概念形成の機序についての探求と、子どもの認知特性の押さえ方についての具体的な方法および実践例を提出している。

第三研究室では「肢体不自由を主とする重複障害児の環境との相互作用に関する実際的研究」を行った。肢体に不自由さがある場合、外界の探索ひいては認知においてきわめて大きな困難を伴う。これまでは動作の改善や運動機能に着目されることはあっても、肢体不自由のある重複障害のある子どもの環境との相互作用については、かならずしも十分に言及されてこなかった。この研究では、この環境との相互作用に焦点をあてて、教材の工夫やコミュニケーションの問題を実践的に検討した。

これらの実践研究を通じて模索された研究の意図や研究を通じて得た知見と成果が、この報告書を読まれる方にとって、重複障害児を理解し、子どもとの係わりを進める上において、多くの示唆となりうるであろうと期待している。

なお、本研究部は、この報告書の取り組みでもって、一応の締めくくりを迎えることなった。そもそも、研究部が発足して以来、一貫して現場とのつながりを重視した研究に取り組んできた。研究部発足当時、重複障害児教育の実践は、まだ日が浅く、教育方法や内容について様々な取り組みが始まったばかりであり、関連領域での課題も含めて多くの実践課題を明らかにすべく模索していた。そこで、研究部では「教育者と研究者とが同じ問題を考え合うこと」を基本的スタンスとして、実践の場における具体的な問題を一般研究のテーマとしてきた。この考えは今日にいたるまで継続的に引き継がれてきている。

種々のテーマを掲げて行ってきたこの「一般研究」の集積が、今後も実践の場にいる関係者の方々はもとより、重複障害児とかかわりをもつすべての方々にとって何らかの参考になれば幸いである。

本事例研究を進めるにあたり、ご多忙中にもかかわらず、実践研究をまとめて頂き、また貴重なご意見、ご指導を頂戴した別記の事例提供者並びに研究協力者の方々、本研究を支えて下さったすべての方々に、心より感謝申し上げる次第である。

平成16年 3 月

重複障害教育研究部長
後　上　鐵　夫

目　　次

重複障害教育研究部一般研究について
後上　鐵夫　（重複障害教育研究部長）

重複障害教育第一研究室
視覚聴覚二重障害教育における教師の専門性に関する研究（平成13年度～15年度）

1　研究の主旨および概要 …… 3
2　視覚聴覚二重障害教育の現状と担当教師の専門性の課題 …… 5
菅井　裕行　（重複障害教育研究部）
土谷　良巳　（上越教育大学）
3　学校コンサルテーション
3－1　宮城県立盲学校における学校コンサルテーションの取り組み …… 7
菅井　裕行　（重複障害教育研究部）
大江　　晃　（宮城県立盲学校）
阿部真由美　（宮城県立盲学校）
3－2　栃木県立盲学校における学校コンサルテーションの取り組み …… 12
土谷　良巳　（上越教育大学）
菅井　裕行　（重複障害教育研究部）
香山　洋子　（栃木県立盲学校）
八木　タイ　（栃木県立盲学校）
朝海　映子　（東京都立葛飾盲学校）
中田　　誠　（栃木県総合教育センター）
4　視覚聴覚二重障害事例の実践報告
4－1　視覚聴覚二重障害児Ａさんとの係わり合いについて …… 16
阿部真由美　（宮城県立盲学校）
4－2　Ｊくんとの３年間のやりとり …… 19
朝海　映子　（東京都立葛飾盲学校）
八木　タイ　（栃木県立盲学校）
4－3　Ｎくんとの入学からの係わりについて …… 23
宇佐川陽子　（東京都立葛飾盲学校）
4－4　Ｄ君について …… 26
大柳　茂樹　（横浜市立盲学校）
5　視覚聴覚二重障害教育を担当する教師の専門性
－視覚聴覚二重障害が初期発達に及ぼす影響について－ …… 30
菅井　裕行　（重複障害教育研究部）
吉武　清實　（東北大学）
6　まとめと今後の課題 …… 33

重複障害教育第二研究室

重複障害児の感覚機能の評価と、評価に基づく指導内容に関する研究（平成 14 年度～15 年度）

研究の趣旨と成果の概要 …… 37
中澤　恵江（重複障害教育研究部）

1　肢体不自由養護学校における視覚障害を重複する生徒の実態と取り組み

1－1　京都市立呉竹養護学校の実態と取り組み …… 39
中東　朋子（京都市立呉竹養護学校）

1－2　東京都の実態と都肢研「視機能支援部会」の取り組み …… 40
奥山　　敬（東京都立大泉養護学校）

2　肢体不自由養護学校において実施できる視機能評価とその活用 …… 41
熊田　華恵（兵庫県立こばと聾学校）

3　肢体不自由養護学校における視覚に配慮した学習環境 …… 44
吉田　賀恵（千葉県立長生養護学校）

4　学校における重複障害児の視機能評価とその活用
～センター的機能の一環をになう重複障害児の視機能評価～ …… 47
林　　尚美（横浜訓盲学院）

5　重複障害児の視機能評価における医療情報の活用と医療との連携 …… 50
新井千賀子（視覚障害教育研究部）

感覚障害と知的障害のある重複障害児の概念形成の機序に関する研究（平成 14 年度～15 年度）

1　研究の主旨および概要 …… 57
佐島　　毅（重複障害教育研究部）

2　盲・知的障害児における概念形成のプロセスに応じた教材・教具
－発達的順序性と触-運動感覚による認知特性の視点からの整理－ …… 58
佐島　　毅（重複障害教育研究部）

3　盲・知的障害児の認知と日常生活の実態チェックリストの試案 …… 63
佐島　　毅（重複障害教育研究部）

4　歩行における位置関係の把握が難しい盲児の事例について …… 66
小中　雅文（大分県立盲学校）

5　盲・知的障害生徒の認知発達を促す指導法について …… 69
堀内　孝一（福岡県立北九州盲学校）

6　盲・知的障害児の教材・教具を活用した認知指導と日常生活における空間の理解 …… 73
山口　裕美（東京都立葛飾盲学校）
宇佐川陽子（東京都立葛飾盲学校）
佐島　　毅（重複障害教育研究部）

7　盲・知的障害児の発達像をどのようにとらえるか …… 76
市川奈緒子（うめだ・あけぼの学園）

8　視覚障害児に適用できる心理検査に関する展望 …… 79
小林　秀之（広島大学）

9　盲・知的障害児の概念形成の指導における今後の課題と展望 …… 82
佐島　　毅（重複障害教育研究部）

重複障害教育第三研究室

肢体不自由を主とする重複障害児の環境との相互作用に関する実際的研究（平成14年度～15年度）

1　研究の概要 …… 87

石川　政孝　（重複障害教育研究部）

大崎　博史　（重複障害教育研究部）

2　事例研究

2－1　事例1　Ｒちゃんのストレスと環境との相互作用 …… 89

小菅さより　（横浜市中部地域療育センター）

2－2　事例2　環境の気づきと環境への働きかけを求めた実践 …… 94

松本　高治　（静岡県立東部養護学校）

2－3　事例3　Ａさんが安心できる係わりや教材の工夫 …… 98

遠藤　和弘　（千葉県立安房養護学校）

2－4　事例4　センターを利用したコミュニケーションの拠点づくり

－ＨＡ君とタカコのセンター探検記－ …… 104

武邊　貴子　（神奈川県立横浜南養護学校）

2－5　事例5　視覚障害のあるＡ児の食事指導を通したコミュニケーションのとりかた … 110

曽我　早苗　（神奈川県立秦野養護学校）

2－6　事例6　重いハンディのある人の地域生活を支えるしくみ「みなと舎の取り組み」… 114

山本　修子　（社会福祉法人みなと舎・ゆう）

3　研究のまとめ …… 118

石川　政孝　（重複障害教育研究部）

大崎　博史　（重複障害教育研究部）